



調査目的

(平成25年度調査)

(一社)日本鉄鋼協会

日本鉄鋼協会では、日本の産業を支える優秀な人材を大学と産業界が協力して育成するために、経済産業省、文部科学省による「産学人材育成パートナーシップ」事業に協力し、鉄鋼産業を支える技術者育成手法の改善検討を進めてきました。

この一貫として、平成22年度より「鉄鋼工学セミナー」の機会を活用し、大学等を卒業し産業界の第一線で活躍されている皆様に大学教育や社員教育の効果、今後の改善点等について生の意見を伺い、その結果を大学関係者や企業の教育関係者へ提示して、繰り返しPDCAを回すことによって、大学教育、社員教育の改善に繋げる活動を行っています。今年は4回目の調査になりますが定点観測のための継続性が重要との認識により、皆様のご協力をいただき、ご意見をお伺いする次第です。毎年の調査結果は鉄鋼協会の会報誌「ふえらむ」に掲載しています。

このような背景の元で、各社からお集まりの若手の技術者の皆様に対し、ご自身の体験に基づき、教育によりプラスとなった点、過去を振り返っての反省点、これらを踏まえての大学および企業の人材育成システムへの評価等の切り口で、以下の設問を準備いたしました。

皆様のご意見は今後の人材育成システムの改善に役立てたいと考えておりますので、ご協力宜しくお願い申し上げます。なお、アンケートで頂きましたご意見は、今後の教育改善に役立てるため、個人情報を除いて原則公開し、大学や企業の教育関係者に伝えますので、予めご了承下さい。

回答者属性 該当項目に○を記入戴き、記述式部分は記入をお願いします。

性別	男性	女性	年齢()才	入社後年数()年	学歴:	博士	修士	学士	高専
所属企業属性	高炉企業	電炉企業	その他企業	企業以外	入社区分:	新卒入社	中途入社		
所属職場属性	生産部門	設備部門	研究部門	本社部門					
出身大学名()	(注:大学が異なる場合は学部○○大、修士○○大):								
出身学部(専攻)	材料(マテリアル)	機械工学	電気・電子	化学工学	制御・計測	土木・建築	物理	化学	その他()

1.大学教育について

【1】ご自身の体験に基づき、大学教育によりプラスとなった点

(1) 大学教育の中で、入社後の実際の業務に役立っている、あるいは幅広い能力育成に貢献した等の視点で有効であったものは何ですか。(①～⑦より最大3つまで選択して、その理由等も選択(複数選択可)してください。)

<p>() ①一般教養科目の講義 (科目名、その理由)</p> <p>○科目名</p> <p>() 英語</p> <p>() 数学</p> <p>() 物理</p> <p>() 化学</p> <p>() その他(複数可: ;)</p> <p>○その理由</p> <p>() 直接/間接に業務に役立っている</p> <p>() 業務上の基礎知識として有効である</p> <p>() 幅広い能力育成に貢献している</p> <p>() 一般知識として有効である</p> <p>() その他()</p> <p>() ②専門科目の講義 (科目名、その理由)</p> <p>○科目名</p> <p>() 熱力学</p> <p>() 材料力学</p> <p>() 機械力学</p> <p>() 流体力学</p> <p>() 材料組織学</p> <p>() 材料強度学</p> <p>() 金属精錬学</p> <p>() 電気工学</p> <p>() 物理化学</p> <p>() 化学工学</p> <p>() 反応速度論</p> <p>() 塑性力学</p> <p>() 破壊力学</p> <p>() 量子力学</p> <p>() 腐食工学</p> <p>() 制御工学</p> <p>() その他(複数可: ;)</p> <p>○その理由</p> <p>() 直接/間接に業務に役立っている</p> <p>() 業務上の基礎知識として有効である</p> <p>() 幅広い能力育成に貢献している</p> <p>() 一般知識として有効である</p> <p>() その他()</p>	<p>() ③演習、ゼミ、インターンシップ等参加型科目 (その理由)</p> <p>○その理由</p> <p>() 推進手法が直接、業務に役立つ</p> <p>() 論理的思考の育成に有効である</p> <p>() 未知課題の解決能力向上に役立つ</p> <p>() 高い専門性が業務遂行に役立つ</p> <p>() 業務上の基礎知識として有効である</p> <p>() 幅広い能力育成に貢献している</p> <p>() 一般知識として有効である</p> <p>() その他()</p> <p>() ④卒論・修論・博論などの研究 (その理由)</p> <p>○その理由</p> <p>() 推進手法が直接、業務に役立つ</p> <p>() 論理的思考の育成に有効である</p> <p>() 未知課題の解決能力向上に役立つ</p> <p>() 高い専門性が業務遂行に役立つ</p> <p>() 業務上の基礎知識として有効である</p> <p>() 幅広い能力育成に貢献している</p> <p>() 一般知識として有効である</p> <p>() その他()</p> <p>() ⑤学会への参加・発表・外部講師による講演、外部セミナーなど学外活動 (その理由)</p> <p>○その理由</p> <p>() 推進手法が直接、業務に役立つ</p> <p>() 論理的思考の育成に有効である</p> <p>() 未知課題の解決能力向上に役立つ</p> <p>() 高い専門性が業務遂行に役立つ</p> <p>() 業務上の基礎知識として有効である</p> <p>() 幅広い能力育成に貢献している</p> <p>() 一般知識として有効である</p> <p>() その他()</p> <p>() ⑥部・クラブなどの勉学以外の活動 (その理由)</p> <p>○その理由</p> <p>()</p> <p>() ⑦その他 (内容、理由)</p> <p>○内容、理由</p> <p>()</p>
--	--

(2) 大学教育によりご自身の能力が向上したと思われるものは何ですか。
 (下記の選択肢から、最大3つまで選択してください。該当しない場合には、その他の項目に内容を記載してください。)

<input type="checkbox"/> 基礎学力 <input type="checkbox"/> 専門知識 <input type="checkbox"/> 研究方法・論文作成方法 <input type="checkbox"/> 情報処理能力 <input type="checkbox"/> 分析力 <input type="checkbox"/> 課題解決総合力 <input type="checkbox"/> 課題把握力 <input type="checkbox"/> 提案力・プレゼンテーション能力 <input type="checkbox"/> 業務遂行能力	<input type="checkbox"/> 興味・情熱 <input type="checkbox"/> 先見性・想像力 <input type="checkbox"/> 実行力・決断力 <input type="checkbox"/> リーダーシップ・統率力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> その他 (内容:)
--	--

【2】過去を振り返っての反省点

(1) 大学時代の一般教養科目、および専門科目の中でもっと勉強しておけば良かったと思う科目は何ですか?
 理由とともにお答えください。(複数選択可)
 (科目、理由ともに下記から選択してください。該当しない場合には、その他の項目に内容を記載してください。)

○一般教養科目名 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> その他(複数可: ;)	○理由 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、必須であるため <input type="checkbox"/> 業務遂行の際に役に立つから <input type="checkbox"/> 幅広い知識として必要だから <input type="checkbox"/> 今後の能力開発のために必要だから <input type="checkbox"/> グローバル化等の環境変化への対応 <input type="checkbox"/> その他()
○専門科目名 <input type="checkbox"/> 熱力学 <input type="checkbox"/> 材料力学 <input type="checkbox"/> 機械力学 <input type="checkbox"/> 流体力学 <input type="checkbox"/> 材料組織学 <input type="checkbox"/> 材料強度学 <input type="checkbox"/> 金属精錬学 <input type="checkbox"/> 電気工学 <input type="checkbox"/> 物理化学 <input type="checkbox"/> 化学工学 <input type="checkbox"/> 反応速度論 <input type="checkbox"/> 塑性力学 <input type="checkbox"/> 破壊力学 <input type="checkbox"/> 量子力学 <input type="checkbox"/> 腐食工学 <input type="checkbox"/> 制御工学 <input type="checkbox"/> その他(複数可: ;)	○理由 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、必須であるため <input type="checkbox"/> 業務遂行の際に役に立つから <input type="checkbox"/> 幅広い知識として必要だから <input type="checkbox"/> 今後の能力開発のために必要だから <input type="checkbox"/> グローバル化等の環境変化への対応 <input type="checkbox"/> その他()

(2) 大学時代に学ぶ機会がなかったが、機会があれば勉強すべきだった科目は何ですか?理由とともにお答えください。
 (複数選択可)
 (科目、理由ともに下記から選択してください。該当しない場合には、その他の項目に内容を記載してください。)

○一般教養科目 <input type="checkbox"/> 英語以外の外国語 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> コンピュータ(ソフト) <input type="checkbox"/> 統計学 <input type="checkbox"/> 経営学 <input type="checkbox"/> 知的財産権等 <input type="checkbox"/> その他(複数可: ;)	○理由 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、必須であるため <input type="checkbox"/> 業務遂行の際に役に立つから <input type="checkbox"/> 幅広い知識として必要だから <input type="checkbox"/> 今後の能力開発のために必要だから <input type="checkbox"/> グローバル化等の環境変化への対応 <input type="checkbox"/> その他()
○専門科目名 <input type="checkbox"/> 熱力学 <input type="checkbox"/> 材料力学 <input type="checkbox"/> 機械力学 <input type="checkbox"/> 流体力学 <input type="checkbox"/> 材料組織学 <input type="checkbox"/> 材料強度学 <input type="checkbox"/> 金属精錬学 <input type="checkbox"/> 電気工学 <input type="checkbox"/> 物理化学 <input type="checkbox"/> 化学工学 <input type="checkbox"/> 反応速度論 <input type="checkbox"/> 塑性力学 <input type="checkbox"/> 破壊力学 <input type="checkbox"/> 量子力学 <input type="checkbox"/> 腐食工学 <input type="checkbox"/> 制御工学 <input type="checkbox"/> その他(複数可: ;)	○理由 <input type="checkbox"/> 業務遂行上、必須であるため <input type="checkbox"/> 業務遂行の際に役に立つから <input type="checkbox"/> 幅広い知識として必要だから <input type="checkbox"/> 今後の能力開発のために必要だから <input type="checkbox"/> グローバル化等の環境変化への対応 <input type="checkbox"/> その他()

(3) 大学時代の一般教養科目、および専門科目の中で不要であると感じた科目は何ですか？ その理由とともに教えてください。(自由記述)	
○一般教養科目名 ()	○その理由 ()
○専門科目 ()	○その理由 ()
(4) 大学で学ぶこと、企業での業務に関係があるとお考えですか？ その理由とともに教えてください。(複数選択可)	
() 大学の教育内容と企業業務に関係がある	○その理由 () 業務遂行上の基本的要素として有効である () 応用／解決課題を教わる機会として有効 () 専門知識として直接的に有効である () 学習能力を向上させる視点で有効である () 人脈形成の視点化から有効である () 興味や情熱喚起の手段として有効である () その他(理由:)
() 大学の教育内容と企業業務に関係がない	○その理由 () 大学で学んだことは直接利用できない () 企業業務に応用するには効率が悪い () 企業のことは企業で教育すべき () 大学で学ぶ側の資質による () ケースバイケースで一概に決められない () その他(理由:)

【3】上記を踏まえての大学教育の評価	
(1) 大学での教育に満足していますか？改善が必要だとすればどのような点でしょうか？ その理由とともに教えてください。(複数選択可)	
() 大学での教育に満足している	○特筆すべき理由があれば記述してください ()
() 何らかの改善が必要である	○その理由 () 基礎的学問の社会での役立ち方の例示必要 () 企業と連携した教育が必要である () カリキュラムが旧態依然としており改善が必要 () 学生参加型やPBL型の講義への改善が必要 () 硬直化、画一化した大学運営システムの改善 () 演習や発表の充実が必要である () 学生間にもっと競争環境を導入すべき () 自らも発信できるような教育が必要である () 教授陣に格差があり、改善を要する () 企業経験のある先生が必要である () 若手の意見をフィードバックする仕組みが必要 () 海外経験を積ませるような仕組みが必要 () 資格取得を考慮した教育が必要である () 社会人教育を充実させるべきである () 基礎教育の充実が必要である () 個人の将来像に基づくような教育が必要 () その他(理由:)
(2) ご自身の学科・専攻と「他の学科・専攻」と比較して、教育方法として優れている、あるいは反省すべきであると 考えられる点をあげて下さい。(自由記述)	
○「他学科・専攻」と比較して優れている点 (比較する学科・専攻:) (優れている点:)	○「他学科・専攻」と比較して反省すべき点 (比較する学科・専攻:) (反省すべき点:)
(3) ご自身の学科・専攻と「他大学の同じ学科・専攻」と比較して、教育方法として優れている、あるいは反省すべきであると 考えられる点をあげて下さい。(自由記述)	
○「他大学の同じ学科・専攻」と比較して優れている点 (比較する大学:) (優れている点:)	○「他大学の同じ学科・専攻」と比較して反省すべき点 (比較する大学:) (反省すべき点:)

2.入社後社内教育

【1】ご自身の体験に基づき、教育によりプラスとなった点

(1) 社内教育の中で、実際の業務に最も役立っている、あるいは幅広い能力育成に貢献した等の視点で有効であったものは何ですか。(①～⑦より最大3つまで選択して、その理由等も選択(複数選択可)してください。)

<p>() ①新入社員研修または新人フォロー研修 ○その理由 () 社会人の基本を学べる () 業務への取り組み方を学べる () コミュニケーションを図ることができる () その他()</p> <p>() ②現場研修または交代勤務研修 ○その理由 () 現場とのつながり、コミュニケーション () 現場のモノの流れ、プロセス、設備を知る () 現場の実際、作業、問題点等を知る () その他()</p> <p>() ③3年目等研修 ○その理由 () 論理的な考察力の向上が図れる () 通常業務以外の知識を獲得できる () その他()</p> <p>() ④業務論文または昇格論文 ○その理由 () 担当業務の整理、区切りとなる () 技術レポートの作成力が向上する () 文章力、人に伝える能力が向上する () 報告の機会が与えられ勉強する () 幅広い能力向上が図れる () その他()</p>	<p>() ⑤OJT研修ないしは、業務そのもの ○その理由 () 現場が業務のすべてであるため () 実務に必要な知識を学べるため () 原価・予算管理等の新知识を学べる () 先輩の業務遂行方法を吸収できる () 現場の課題発掘が出来る () 業務遂行能力が向上する () その他()</p> <p>() ⑥OFFJT専門技術研修 ○その理由 () 大学で学んだことの応用を習得できる () 多角的な事項を学ぶことができる () 統計学等の新知识を吸収できる () 知識を系統的に吸収できる () 業務遂行の視野が広がる () その他()</p> <p>() ⑦その他(内容、理由) ○内容、理由 ()</p>
--	---

(2) ご自身の現在の能力が、入社後のどの様なやり方で培われたと評価していますか?(複数選択可)
(下記の選択肢から選択してください。該当しない場合には、その他の項目に内容を記載してください。)

<p>() OJT () OFFJT () OJTとOFFJTのサイクル () 上司や先輩の指導</p>	<p>() 同僚との切磋琢磨 () 後輩への指導 () 独学・自己学習 () その他()</p>
--	---

【2】過去を振り返っての反省点

(1) 入社後に受講した社内教育を振り返って、反省や改善すべき点がありましたら、記載してください。(自由記述)

【3】上記を踏まえての企業の人材育成システムの評価

(1) 会社の教育システムには満足されていますか? 問題点があるとすれば何ですか?(複数選択可)

<p>() 会社の教育システムに満足している</p>	<p>○特筆すべき理由があれば記述してください ()</p>
<p>() 会社の教育システムに満足していない</p>	<p>○その理由 () 育成メニュー内容に問題あり () 研修等の開催期間に問題あり () 業務との両立が困難 () 研修後のフォローが不充分 () 育成側の資質・マインドの問題 () 受講側の資質・マインドの問題 () 参加チャンスを作れない () インセンティブ向上が必要(希望者のみ等) () その他()</p>

3.鉄鋼人材の育成について

(1) 大学時代の理解と入社後で最も違っていたことは何でしたか？(複数選択可)

(下記の選択肢から選択してください。該当しない場合には、その他の項目に内容を記載してください。)

<input type="checkbox"/> 経済合理性・コストの重要性 <input type="checkbox"/> 要因の多さ・複雑さ <input type="checkbox"/> 現実的な制約の大きさ <input type="checkbox"/> 時間軸の速さ <input type="checkbox"/> 単純な理論では通用しない <input type="checkbox"/> 現場は大雑把で専門性は高くない <input type="checkbox"/> 人間関係の重要性 <input type="checkbox"/> 大学時代のレベルの低さを痛感した <input type="checkbox"/> 責任の重さや管理の厳しさ <input type="checkbox"/> 原理原則が想定以上に通じる世界 <input type="checkbox"/> ニーズを重視する姿勢が強い <input type="checkbox"/> 就業環境が想像とは違っていた	<input type="checkbox"/> 未知の課題の解決の難しさ <input type="checkbox"/> 産業を支える理論の重要性 <input type="checkbox"/> 評価項目が異なる <input type="checkbox"/> 職務間の格差が大きい <input type="checkbox"/> 基本的な未解決課題が多い <input type="checkbox"/> 業務の自由度が少ない <input type="checkbox"/> 大衆向けの説明の重要性を実感 <input type="checkbox"/> 適材適所が必ずしも不十分 <input type="checkbox"/> 安全最優先の考え方 <input type="checkbox"/> 新しいアイデアの重要性 <input type="checkbox"/> 専門性の高さ <input type="checkbox"/> 二律背反の難しさ <input type="checkbox"/> その他()
---	---

(2) 入社前後のギャップを埋めるために、どのような対策が重要であると思いますか？

必要な対策の内容とその理由とともにお答えください。

<input type="checkbox"/> 大学教育の充実 (内容、理由:)	<input type="checkbox"/> その他の事項 (内容、理由:)
<input type="checkbox"/> 社内教育の充実 (内容、理由:)	

(3) 現在の会社を選んだ契機、動機は何ですか？(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 大学の専門(専攻)の技術分野が合致 <input type="checkbox"/> 教授や先輩の推薦 <input type="checkbox"/> 鉄鋼業の産業としての意義 <input type="checkbox"/> 鉄鋼業の業容の多様性 <input type="checkbox"/> 会社の体質・雰囲気があるため <input type="checkbox"/> 会社のリクルータの紹介	<input type="checkbox"/> 会社の就業条件があっているため <input type="checkbox"/> 自分の能力発揮ができるため <input type="checkbox"/> 工場見学を行った際に魅力を感じた <input type="checkbox"/> インターンシップを行い魅力を感じた <input type="checkbox"/> その他()
--	--

(4) 大学時代、鉄鋼業のことは良く知っていましたか。知りえる環境は整っていましたか？それともご自身で努力されましたか？

<input type="checkbox"/> 鉄鋼の認知度 <input type="checkbox"/> 良く知っていた <input type="checkbox"/> 概ね知っていた <input type="checkbox"/> 少ししか知らなかった <input type="checkbox"/> 殆ど知らなかった	<input type="checkbox"/> ご自身で努力された場合の手段 <input type="checkbox"/> 工場見学を活用した <input type="checkbox"/> 先輩やリクルータ等から聞いた <input type="checkbox"/> インターンシップ制度を活用した <input type="checkbox"/> その他()
---	---

(5) 大学時代に製鉄所を見学する機会がありましたか？見学した方はそれが就職の選択に影響しましたか？

<input type="checkbox"/> 見学機会の有無 <input type="checkbox"/> 見学する機会があった <input type="checkbox"/> 見学する機会はなかった	<input type="checkbox"/> 見学した方の就職の選択への影響 <input type="checkbox"/> 工場見学によって就職に大きく影響した <input type="checkbox"/> 見学前から就職希望だった <input type="checkbox"/> あまり影響はなかった <input type="checkbox"/> その他()
---	--

(6) 大学時代に鉄鋼業以外の製造現場を見学する機会がありましたか？鉄鋼業と比較してどのようなことを感じましたか？

<input type="checkbox"/> 見学機会の有無 <input type="checkbox"/> 見学する機会があった (業種:) <input type="checkbox"/> 見学する機会はなかった	<input type="checkbox"/> 鉄鋼業と比較してどのようなことを感じましたか？ (自由記述:)
---	--

(7) 大学生に鉄鋼業の理解をしてもらうため、大学と鉄鋼会社は協力して何をすれば良いと考えますか？(複数選択可)

<input type="checkbox"/> 工場見学の実施 <input type="checkbox"/> 産学連携・共同研究 <input type="checkbox"/> インターンシップ活用 <input type="checkbox"/> 種々の交流機会の増加 <input type="checkbox"/> 企業講師の出張講義 <input type="checkbox"/> 鉄鋼業の重要性のPR <input type="checkbox"/> 大学講義で実践事例を紹介 <input type="checkbox"/> 先輩やリクルータの派遣 <input type="checkbox"/> 企業での業務内容が分かるパンフレット	<input type="checkbox"/> 専門業務の重要性PR <input type="checkbox"/> 将来の発展性をPR <input type="checkbox"/> 鉄鋼業の良さをPR <input type="checkbox"/> 新技術・先端技術のPR <input type="checkbox"/> 環境技術・取組のPR <input type="checkbox"/> 高校生への教育の充実 <input type="checkbox"/> 鉄鋼関係のカリキュラムの改善 <input type="checkbox"/> メディアの活用 <input type="checkbox"/> その他()
---	---

(8) 鉄鋼会社を若い人にPRする上で、強みは何ですか? 弱みは何ですか?(複数選択可)

○「強み」であると考えられる点

- 基幹・基盤産業である
- スケールの大きな仕事・やりがいのある仕事
- 高給、福利厚生、人材育成
- 日本企業の国際的優位性
- 技術力の高さ
- 規模の大きさ
- その他()

○「弱み」であると考えられる点

- 古臭い、成熟、地味なイメージ
- 3K職場のイメージ
- 仕事・製品の内容、魅力が伝わりにくい
- 将来性不透明、景気変動受けやすい
- 技術の先進性、発展性が不明瞭
- 鉄鋼業のPRが不十分
- その他()

(9) 鉄鋼を希望する人材が減少傾向とすれば、その理由は何だと思えますか?(複数選択可)

- 鉄鋼業の仕事に魅力がない
- 古い、3K等の暗いイメージ
- 資源問題、業績の悪化
- 将来性、先進性、明るい未来がない
- 業務量が多い、残業も多いイメージ

- 他業界(自動車、IT等)の方が人気が高い
- 材料系以外の学生の認知度が低い
- 理系離れ、講座減少
- 鉄鋼業界からのアピール不足
- その他()

(10) 鉄鋼への就職を選択する人を増やすために、鉄鋼会社が行っている努力に対して、改善点をコメントください。(複数選択可)

- 知名度の向上(CMなど活用)
- 情報提供、鉄鋼業の良さのPR
- 工場・研究所の見学機会増加
- 仕事の内容、やりがいをPR
- 社会的貢献のPR
- リクルータの強化
- 新製品、新設備のPR

- 人材交流の促進
- 給与等の就労環境PR
- 最先端の技術開発
- 将来性、発展性のPR
- インターンシップの強化
- 産学連携の促進、強化
- 女性の雇用促進
- その他()

(11) 現在の就職活動・採用活動のあり方についてご意見をお聞かせください。(自由記述)

(就職活動の時期、大学のキャリア支援センターへの要望、新卒一斉採用の是非等の視点でご意見をお願いします。)

(12) グローバルな大競争の中で日本の鉄鋼業発展のために何をなすべきとお考えですか。(自由記述)

(13) これまでの経験を踏まえて、現在の大学生に伝えたいメッセージをお願いします。(自由記述)

4. 鉄鋼協会の育成事業への提案

【1】学生向け育成事業について

(1)鉄鋼協会では、学生向けの育成事業として、学部生向けセミナー、修士向けセミナー、工場見学支援等を実施しています。学生時代を振り返って、鉄鋼協会の学生向けの育成事業として活用したかった、あるいはあったら良かったと思う事業はありますか?(自由記述)

(2)現行の鉄鋼協会の学生向けの育成事業で効果が疑問であると思う事業がありますか?(自由記述)

【2】社会人向け育成事業について

(1)鉄鋼協会では、社会人向けの育成事業として、鉄鋼工学セミナー(蔵王)、同専科、アドバンスドセミナー、技術講座を実施しています。大学教育と社内教育の現状を踏まえて、鉄鋼協会の社会人向けの育成事業として活用したい、あるいはあったら良いと思う事業はありますか?(自由記述)

(2)現行の鉄鋼協会の社会人向けの育成事業で効果が疑問であると思う事業がありますか?(自由記述)